

江津地域の新設校に係る県議会質問・答弁について
島根県自民党議員連盟坪内議員 2月定例会一般質問・教育長答弁

令和8年2月27日

江津地域の新設校開校準備は、開校準備委員会による議論が重ねられるとともに、今年度当初予算においては、新設校開校に向けて必要となる環境整備として、部活動等の合同実施に向けたバスの整備、施設整備に向けた測量調査、女子生徒の受入れ等のため、既存寄宿舍の改修に向けた実施設計の予算 3,337 万円が計上されました。

来年度当初予算案では、新設整備事業として 5 億 5,381 万円、開校準備に 5,683 万円が計上されています。

令和7年度の中学1年生の生徒たちが、新設校が開校する令和10年度の新1年生の世代となります。

いよいよ開校が2年後となり、江津地域の新設校がどのような学校となるのか、細部にわたって詰めていく期間となります。

令和8年度における開校準備をどのように進めていくのか伺います。

(教育長答弁)

新設校の開校に向けた学校運営の基本方針や、新たなカリキュラム、施設整備等については、新設校開校準備委員会において、地域の関係者の方々からご意見を伺いながら、検討を進めております。

本委員会は、令和6年2月から7年3月までを第Ⅰ期、7年度から9年度までを第Ⅱ期として検討を進めており、来年度は第Ⅱ期の2年目となります。

今年度の準備委員会においては、他校の先進事例などの調査・研究を行いながら、教育課程や部活動など大まかな方向性の検討をいたしました。

来年度につきましては、新設校の校名、校歌、学校運営の基本方針であるグラウンドデザイン、新たに設置する「新しい普通科」の学習内容を含めた教育課

程の詳細などについて検討し、9年度の生徒募集開始に向けて、新設校の姿がより具体的にお示しできるよう準備を進めてまいります。

なお、これらの検討に当たっては、江津高校及び江津工業高校の教職員で構成するプロジェクトチームにおいて、より詳細に検討を進めていく考えであります。

また、校舎等の施設整備につきましては、今年度行った測量調査の結果を基に、来年度は基本設計、実施設計を行うとともに、既存寄宿舍を女子生徒も利用できるようにするための改修工事や、備品購入等を行うための経費を盛り込んだ予算案を提出しております。

令和5年11月定例会の一般質問に対する答弁で、適切な時期に地域の中学生等の意見を聴く機会を設ける予定とのご答弁を教育長よりいただいておりますが、新設校の開校に向けては、実際に新設校に進学する世代の子ども達からの意見を開校準備に活かすことが極めて重要であると考えます。

子どもたちの意見を聴くことについての対応状況と、それらをどう新設校開校に活かしていくのか考えを伺います。

(教育長答弁)

新設校開校に当たっては、入学の対象となる地域の子どもたちが新設校に何を期待し、どのような学びを求めているかを十分に把握しながら、検討を進めることとしております。

先月19日から今月18日までの期間に、江津市、浜田市、大田市、邑智郡の小学校及び特別支援学校小学部の5・6年生とその保護者、中学校及び特別支援学校中学部の生徒とその保護者、江津高校及び江津工業高校の生徒とその保護者、さらに、江津市内にある江津清和養護学校高等部の生徒とその保護者を対象に、アンケート調査を行いました。

このアンケート調査は、新設校における学習内容や学校行事、部活動、制服などの項目について、選択又は自由記述で回答する形式となっており、897件の回答をいただき、現在集計・分析中であります。

いただいたご意見につきましては、先ほど申し上げた新設校開校準備委員会とプロジェクトチームにおいて、検討に当たっての基礎資料として活用するほか、教育委員会で、それぞれの意見に対する回答や検討状況を取りまとめ、今後公表することとしております。